

科目名		解剖学実習	
科目責任者		本田 岳夫 (第1解剖学 教授)	
開講時期： 2～4年次		単位数： 6 単位	時間数： 90分× 90 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 解剖学的思考法を養い、種々の形態学的手法を用いて、知識と技術と態度を多角的に学び人体の構造と空間配列をその機能と関連して明らかにする。 行動目標 (SBOs) 1) 肉眼解剖学の研究に関する申請書類を作成することができる。 2) 肉眼解剖学に関する最新知識の取得ができる。 3) 献体の意義、歴史と現況を理解し説明できる。 4) 解剖学的思考法を養い、医の倫理について意識することができる。 5) 人体各部位の構造を局所解剖学的に説明することができる。 6) 体表から主な器官の位置と形態を指し示すことができる。 7) 局所の正常構造と関連器官の形態と機能を理解し、説明することができる。 8) 医用画像に基づく人体各部位の構造と位置関係を立体的に理解することができる。 9) 解剖学の研究目的、方法、結果を理解し、研究の意義、問題点を見出すことができる。			
● 評価方法		検討会での討論 (30%)・発表 (30%)・レポート等 (40%) で総合評価する。	
● 参考文献		実習の中で必要に応じ紹介する。	